第 4 回「私の学校自慢」

1)テーマ 「いのちの出前授業を通して」
2)カテゴリー ④ 連 携 （地域・多職種等）
3)学校概要
学校名：愛仁会看護助産専門学校
所在地：大阪府高槻市古曽部町 1 丁目 3 番 33 号
課程名：助産課程　　1 学年定員数：15 人　　就業年限：1 年

内容

助産学科では助産師としての地域での役割を理解できること、また地域の特性、発達課題やニーズに応じた健康教育の実践できることをねらいとして、地域実習 1 単位 45 時間を設定している。その中で 2020 年度から地域の小学校で、いのちの出前授業を実施している。出前授業は小学 4 年生の子どもたちに、いのちの大切さを理解してもらい、自分自身のこと、みんなのことを大切にできる心を養うことを目的として実施している。また子どもたちが安全に楽しく学べるように、いのちの大切さが実感できるように学童期の発達段階を考慮した関わりをすることを目標として実施している。

2024 年度（第 5 回）は、「いのちのおはなし～わたしもみんなもたからもの～」をテーマとして小学 4 年生 54 人を対象に出前授業を実施した。授業内容は、講義（50 分）と体験（40 分）の構成とした。講義では、いのちのはじまり・胎児の成長から出産場面・赤ちゃんの特徴などを説明し、体験では、いのちに触れる体験として妊婦体験・心音の聴取体験・赤ちゃんのお世話体験などを実施した。





2024 年度の取り組みを終えて

学生はリハーサルとリフレクションを繰り返し、お互いに改善点や解決策を見出すことで授業のブラッシュアップを行い準備した。当日は、小学 4 年生が安全に楽しく学べるように運営した。受講者（小学生）は、全員が興味を持って聞いており、楽しんで学んでいる様子が見られた。アンケートでは、「お母さんの大変さや育児の大変さがわかった」「10 歳まで生きてこられたことが、普通じゃないことが分かった」「赤ちゃんが産まれることが嬉しいことだと分かった」「人の変化は人それぞれなんだ」「たくさんの愛情をもらって育ったんだ」などの意見が聞かれた。いのちの誕生の現場にいる助産学生が伝えることで、意味ある「いのちの授業」が実施できたと考える。